

あぶない！ 高齢者の自転車事故がふえています

月刊



第53号

平成23年9月15日

《発行》
公益社団法人

日野市シルバー

人材センター

日野市日野本町2-4-7

0421581-8171

自転車総合保険のすすめ シルバー保険対象外の賠償 傷害に備えよう

昨年7月に行われた東京しごと財団「東京都シルバー人材センター（SC）連合主催の安全リーダー研修（各SCの安全管理委員対象）のテーマは「高齢者の自転車交通安全 事故防止」でした。「自転車事故はこの10年間で5倍以上ふえている」「自転

車運転中の死者数は65歳以上が64%（平成21年）」こんな危険が強調されました。その後発表された東京しごと財団の平成23年度安全就業読本によると、就業上の傷害事故状況は左上の図表のとおりです。21・22年度の対比で事故件数は全体で13.5%増、とくに自転車利用時（バイクを含む）では19.7%も増えています。

就業上の賠償事故は？

この図表はシルバー総合保険の対象となる傷害事故を扱っていませんが、就業上の賠償責任事故はシルバー保険の対象になりません。また、就業活動関連の自転車事故は傷害賠償ともシルバー保険の対象になりません。こつした事態に対応した「自転

就業上の傷害事故状況(東京都SC)

年度	全体	自転車	歩行時	その他
H22	202	158	43	1
H21	178	132	44	2

種別	H22	H21
自転車	158	132
歩行時	43	44
その他	1	2

団体自転車総合保険のご案内

シルバー保険と違い個人の任意加入です。賠償責任事故および本人の傷害事故を補償します。

被保険者	保険の種類	保険金額(暫定)
本人 1人当り	死亡保険金	200万円
	後遺障害保険金	200~6万円
	入院日額保険金	3,000円
	通院日額保険金	2,000円
	賠償責任保険金	3,000万円
保険料	1,340円(年額)	

車総合保険」が先の安全リーダー研修でも話題になりました。当センターでも最近、安全管理委員会などで検討されています。左の表は、本紙前号で紹介した団体自転車総合保険の参考事例の改定版です。加入方式はシルバー保険と違い、会員個人の任意加入です。自転車を利用される会員の皆様、この際お考えになつて

会員数

平成23年7月31日
1,789名
男性 1,374名
女性 415名
入会者数
7月 32名
(男23名、女 9名)
但し、退会者16名

はいかがでしょうか。

本紙次号にチラシ折込み
12月から事務局受付

SCで扱う自転車保険は、団体20名以上の参加が条件の団体自転車総合保険」です。上記の東京しごと財団が取扱代理店となり、引受保険会社は(株)損害保険ジャパン(東京 西新宿)。

当センター事務局は取扱代理店の窓口として、きたる12月から会員皆様の加入受け付けを開始します。それに先立ち、本紙次号に案内チラシを折り込みます。

地域班長へのアンケート実施

地域委員会は所掌事項に基づく新規活動の一環として、8月31日付で、全地域班長に対するアンケートを実施しました。主な設問は地域班会議、社会奉仕活動（一斉清掃）、地域班長会議のあり方、班長 副班長問題等についてです。

全地域班一斉清掃
10月16日(日)に実施
します
地域委員会

7年目を迎えた学童防犯パトロール 栄町班の社会奉仕活動 大山氏に聞く

今年7年目になる栄町班のユニークな社会奉仕活動(ホランティア活動)について、「事務局」担当の大山精爾氏に聞きました。

栄町班が平成17年から自主的に行っている社会奉仕活動「下校時の学童の安心・安全のための見守りパトロール」が、参加いただいている方々のご努力により、無事故で7年目を迎えました。

活動のきっかけ

平成17年当時、全国各地で小学生を狙った犯罪が多発していました。地域内には東光寺小学校があり、学童たちの下校時の安全を守ることに、少しでもお役に立

平成23年度1学期の活動記録

月	登校日	実施日	活動人員
4	17	16	62
5	19	19	81
6	22	22	91
7	14	12	44
計	72	69	278

実施率	95.8%
1回当たり参加人員	402人

てはと栄町班の有志6名で見回りパトロールが始まりました。

活動の内容

通学路のパトロールは、月曜日～金曜日の登校日14時～15時30分、2～4名で行っています。

また、学童保育では、火曜日・木曜日保育終了後17時～18時の間、校門～自宅まで送り届ける活動を4～6名で行っています。

現在このパトロールに参加しているのは22名(実働16名)ですが、この中には、会員のほか栄町班の活動に賛同されたり、健康のためといったシルバ会員以外の方も6名含まれています。

このグループを地域の子どもを守る会「東光寺小地区」と言いその会長を栄町班前班長の繁山浩三氏が務めています。

学童保育の母親からお礼の手紙

小学1～3年の学童保育を終えた子どもさんの母親から「3年間の学童保育を無事に過ごすこ

とができたのは、通学路の安全パトロール頂いた皆さんのお陰です。ありがとうございます」という丁寧なお手紙もいただいています。

今後の活動

栄町班では、これからもこの活動を地域の方々の協力をいただきながら推進していくこととしております。ただし、今年に限りこれからも猛暑が予想されますので熱中症予防のため、2学期の始業日から9月30日までパトロールを中止し、10月3日から再開する予定です。



挨拶する会員たち(後列中央部) = 大山氏提供

新町班も6年来、同じ東光寺小地区の防犯パトロールを行っています。別途紹介します。

理事会二ニュース

第7回理事会 8月31日

審議事項 正会員の入会、諸規程の整備について

「委員会設置規程改正、安全管理委員会設置規程廃止、役員等費用弁償規程改正、地域班設置規程改正、地域班ブロック運営要領改正、就業調整委員会設置規程改正、(旧)女性委員会設置要綱廃止、職員就業規則・職員給与規程・旅費規程改正」

報告事項 7月事業実績

「センター」行事日程

10月16日(日) 全地域班一斉清掃 各地

自転車等放置防止指導・誘導者の研修会 8月24、26両日、センター会議室で実施。両日で38名が参加しました。

訃報欄 山本弘やまもとひろしさん 落川・百草班 8月16日死去。72歳。21年10月7日入会。

配分金の支払日

- 9月20日(火)
- 10月20日(木)
- 11月18日(金)
- 12月20日(火)
- 1月20日(金)
- 2月20日(月)

テレホンサービスは 042-581-0555

「おもてなしの心」 でお客様と向き合う

平山交流センター受付・案内就業者が
職場グループ会議
(職場グループからの投稿)

平山交流センターの受付案内業務の職場リーダー系井連平氏から、次のような職場グループ会議の記事が寄せられました。

平山交流センターの受付案内業務に就業している会員9名は、7月25日の定期休館日に当たり、職場グループの定期会議を開催しました。他に、管理業務の就業会員6名がいますが、これは別グループです。

今年は、受付案内の半数以上が就業期限切れに伴う入れ替わりとなったのに加え、職場リーダーも交代となりました。

会議では、「継続先輩」のアドバイスをいただきながら、一人ひとりが交流センターの代表者と

しての意識を高める、お客様には正確迅速親切を行動指針に「おもてなしの心で向き合うことが肝心」等々の申し合わせをしました。
さらに、窓口業務の改善事項などについても話し合い、限られた時間でしたが、活発な意見交換の場となりました。事務局からは担当職員の沼田さんに出席いただきました。

各職場グループでの会議、出来事、話題についての投稿を歓迎します。



平山交流センター職場グループ(笹井英明氏撮影)

各委員会の動静

【総務委員会】

第3回委員会を8月23日に開催。

* 検討事項〃 役員等費用弁償規程等、諸規程の見直し
新入会員研修テキスト等の見直し
* 会員用規程集について
センター広報活動について

* 実施事項〃 7月に続き8月も事務局連携で新入会員研修、入会案内説明会を担当。

【事業委員会】

第2回委員会を8月19日開催。

* 重点項目「家事援助を含む家庭の仕事」では、日野市の事業と競合するので調整する。
* 集中して事業展開するものを次回持ち寄って決める。現在の候補は、大工仕事、お助け隊、墓地清掃。

【地域委員会】

8月8日に第2回委員会。当面の活動〃 西平山班の分割(西平山1班と西平山2班)を決定
〃 10月1日実施 地域班長アンケートを郵送 全地域一斉清掃の日程を決定〃 10月16日。

今回特に、土方班長(新井高

幡)と増田班長(白野1)に出席いただき、ご意見を伺った。

【女性委員会】

第2回委員会を8月8日、第3回臨時委員会を8月29日開催。

当面の活動〃 女性会員増強に向け公共施設にチラシ設置へ
女性就業場所の増加・拡充に向け検討開始
他SCとの積極的な交流の実施へ
就業コーディネーターによる就業開拓(調理関係)の促進。

女性委員会

以前聞いたことがあるような……と思われた方も少なくないでしょう。実は4年前、同じ名称の委員会が発足し、「布ぞつり講習会」を主催するなど2年近くにわたって活動していました。しかし、今回の女性委員会は、それとは別。以前のは、旧専門部会に所属する関連組織でしたが、今回は旧専門部会と同レベルの新設4委員会の一つ。活動の主要目標は、女性会員の増強と就業機会拡大。とくに女性会員の比率を、現在の23%から30%に高めることなどをめざしています。

楽しい簡単体操で健康づくり

当センターが 転倒予防講習会

9月2日、生活 保健センターで当センター主催の転倒予防講習会が行われました。参加したのは男女あわせて34名。

昨年度、都内SCで発生した傷害事故は527件(就業中310件、就業途上202件、その他15件)となっています。この中で一番多いのはつまづいたり、バランスを崩しての転倒事故です。

どうしたらこのような事故を減らすことが出来るのでしょうか? 答えの一つがこの講習会です。東京ごと財団のスポーツプログラム(山内先生のユーモアあふれる説明や指導のもとプログラムがスタートしました。

転びにくい身体づくりには、足の筋力、バランス能力、地面をつかむ足指力の3つの力を強化することが大切です。

足腰の筋力
椅子に座り、太ももをゆっくり交互に上げる。また片方の膝をのばし、つま先を立てて5秒維持す

る。これを両足で交互に行う。

膝をぴんと伸ばし足の親指の付け根に体重を乗せ踵を上げる。バランス能力

目を閉じて立つ訓練。

直線上を親指と片方の踵をくっつけるようにして歩く。この時足裏の内側に力を入れると良い。地面をつかむ足指力

安定して立つためには足指力が



タオルを使用して背伸ばしの体操(2011.9.2)

「平成23年度安全標語佳作から」
慣れが生む 危険と安全 紙一重 田中富士人(西平山)

重要で、足指間を広げることが大切です。参加者に「あしもと美人」(足指間を広げるポリエチレン製パッド)を支給され広げる訓練。

また、転倒防止に重要なのが姿勢です。試しに背を丸めて前や横を見てください。背をピーンとした時に比べて、視野がはるかに狭くなります。視野が広がると動作に余裕ができます。

今回みなさんが楽しそうに受講しているのが印象的でした。

女性会員が自転車で横転 右腕骨折 今年度事故4件目

8月5日、就業を終え自転車で帰宅途上の女性会員(65)が下り坂でブレーキをかけた際横転、右腕を骨折しました。通院90日の見込み。この結果、今年度の事故件数は傷害4件となりました。

事故報告は直ちに事務局へ!

事故報告については、このように毎号でお願いしていますが、引き続き励行のほどお願いします。

(安全管理委員会)

市実施の特定健診 生き生き健診は必ず受けましょう

問合せ先：市健康課、保険年金課

断捨離*

夏井 美保子

「このシャツ、捨てておいて」息子が、十数枚ものシャツを出してきた。

「まだ着れるでしょ」と私が言うのと、「じゃあウエスにして」と答えた。

母と私は、ジョキジョキ切り始めたが、母は「もったいないねえ」と言っては手を止める。みるみる会社で機械を拭く布が山積みになった。気持ちにはずみがついて部屋中を片づけたくなって見回し、ハンダ傘々と仮置きしてみました。まるでフリーマーケットだ。

私が一番片づけられないものは、数々の写真と「夫の物」だ。

震災のガレキの中から家族の写真を探し出して言ひ合っ様子をテレビで見ても、もらい泣きしてしまったのを思い出し、片づけの手の動きがにぶってしまふ。それでも、なんとか少し部屋が広くなつてひとりでにんまりした。荷物はベランダに居を移したただけなのだ。……。

* 要らない物を断ち、捨て、物への執着から離れる生活術。(編集者)